

日本保健物理学会 新 Newsletter 2017年11月21日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2017/11/22 10:51:52

-----  
日本保健物理学会 新 Newsletter 2017年11月21日号  
-----

1. 学会関連情報

○Joint ICRP-RERF-JHPS Workshop on Recent Progress in Radiation Dosimetry for Epidemiology and Radiological Protection

参加者申し込み受付中

(12月2日(土) 13:30~17:00、東京大学工学部 2号館 221 講義室)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=52>

ICRPによる第2アナウンスでアブストラクトが公開されました。

<http://www.icrp.org/docs/Joint%20ICRP-RERF-JHPS%20Workshop%20Dec%202017%20Second%20Announcement.pdf>

○AOCRP-5 演題申込み締切が12月4日(月)午前0時に延長されました。

Early Bird Registrationは12月14日まで。

(2018年5月20-23日、オーストラリア メルボルン)

<http://www.aocrp-5.org/submit-abstract/>

○IRPA 情報 IRPA14 (2016年5月、ケープタウン)のproceedingsを公開

<http://www.irpa.net/page.asp?id=2>

2. 関連する研究動向

○Spring-8 2018年A期のSPRING-8利用研究課題を募集中

[http://www.spring8.or.jp/ja/users/proposals/call\\_for/summary\\_18a/](http://www.spring8.or.jp/ja/users/proposals/call_for/summary_18a/)

○ICRP 「国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)との会合(独 ミュンヘン 11月8?10日開催)の声明」を発行

<http://www.icrp.org/docs/ICRP-ICNIRP%202017%20Meeting%20Statement.pdf>

○ICRP 「第一専門委員会2017年年会(仏 パリ 10月9?14日開催)の要約」を発行

<http://www.icrp.org/docs/Summary%20of%20C1%20Paris%20meeting%20October%202017.pdf>

○OECD/NEA 新刊報告書:Radiological Characterisation from a Waste and Materials End-State Perspective  
: Practices and Experiences

<http://www.oecd-nea.org/rwm/pubs/2017/7373-rad-char-pers.pdf>

(論文情報)

○Radiology. 電子版先行掲載 (doi: 10.1148/radiol.2017170683).

米国診療放射線技師コホート (USRT) のうち、1度は核医学に従事したことがある診療放射線技師で、初期白内障リスクのリスク (ハザード比) が有意に上昇。

平均追跡期間は7年半。防護の有無はリスクと強い関連性なし。

Cataract Risk in a Cohort of U.S. Radiologic Technologists Performing Nuclear Medicine Procedures.

Bernier MO et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/29019450>

○Radiation Measurements Volume 107, December 2017, Pages 33-38

TL MCP-N (LiF:Mg, Cu, P) 検出器と CCD カメラを用いた 2 次元型 TL 線量測定システムを開発。

Clustering analysis により高エネルギーガンマ線下での静的/動的被ばくを自動的に判別。

Clustering analysis as a new automatic method for distinguishing static and dynamic exposure to high energetic gamma rays using thermos luminescence detectors and a reader with a CCD camera

Nalichowska E et al

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1350448716303109>

○Risk Analysis, DOI:10.1111/risa.12893

福島第一原子力発電所事故後に行われた福島県産のハウレンソウとキャベツに対する出荷制限について、被ばく線量低減と経済性の観点から妥当性を評価。

出荷制限期間中に予測される線量は線量基準値よりも低く保たれていたが、経済的観点からは非効率的であったことが示唆された。出荷制限の期間又は納税者への利益を最大限にする期間は放射性 Cs の減少率に依存する。制限を解除する前に放射性 Cs の減少率をできるだけ早く推定すべき。

Seto M et al

Assessment of Instructions on Protection Against Food Contaminated with Radiocesium in Japan in 2011

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/risa.12893/full>

3. ニュースや社会の動き

○放射線審議会 眼の水晶体の放射線防護検討部会 (第4回部会 11月16日開催)

医療分野における水晶体の被ばく、防護の実態、原子力発電所等における現状等について議論。

[http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/houshasen\\_suisyotai/20171116suisyotai.html](http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/houshasen_suisyotai/20171116suisyotai.html)

○東京電力 「福島原子力事故の総括および原子力安全改革プラン」

2017年度第2四半期の進捗報告を公開。

[http://www.tepco.co.jp/press/release/2017/1464410\\_8706.html](http://www.tepco.co.jp/press/release/2017/1464410_8706.html)

○日本経済団体連合会 「今後のエネルギー政策に関する提言 -豊かで活力ある経済社会の実現に向けて-」を発表

原子力エネルギーの継続的利用の必要性を明記し、原子力発電所の新增設などを政府施策に盛り込むべきとした。

<http://www.keidanren.or.jp/policy/2017/090.html>

#### 4. これからのイベント

○放射線安全フォーラム 第54回放射線防護研究会「放射性廃棄物」

(12月9日、千代田テクノル本社ビル2階会議室)

[http://www.rsf.or.jp/events\\_research.html](http://www.rsf.or.jp/events_research.html)

○日本RI協会 R&Iサイエンス講演見学会(12月8日、理化学研究所 仁科加速器研究センター)

新元素ニホニウムが誕生した重イオン線形加速器「RILAC」などのRIビームファクトリー設備を見学。

<https://jrias.smktg.jp/public/seminar/view/44>

○原研 原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム

「核テロ対策の強化と人材育成 ～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～」

(12月7日、時事通信ホール)

<https://www.jaea.go.jp/04/iscn/activity/2017-12-07/announce.html>

#### 5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○原研 平成30年度特別研究生の募集開始(締切:2018年1月9日)

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/internship/50/>

○原研 バックエンド研究開発部門 埋設事業センター 埋設技術開発室 技術系職員1名(締切:11月30日必着)

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/career/228/>

○量研機構 核融合エネルギー研究開発部門 六ヶ所核融合研究所 研究員1名(任期有り)

(締切:12月22日必着)

<http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/Rokkasho/bosyuuyoukouRoshisu.pdf>

○量研機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所 主幹研究員1名(任期無し)(締切:12月7日必着)

[http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/Takasaki\\_tokai/171102【量子高崎】H30年度定年制職員](http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/Takasaki_tokai/171102【量子高崎】H30年度定年制職員)

(研究職)キャリア採用募集要項\_羽島 P%20r3.pdf

○量研機構 放射線医学総合研究所 放射線防護情報統合センター 研究員1名(任期有り)(締切:12月5日必着)

[http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/NIRS/29nirs\\_95.pdf](http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/NIRS/29nirs_95.pdf)

○理研 仁科加速器研究センター RI応用チーム 特別研究員または協力研究員1名(任期有り)

(締切:12月31日必着)

[http://www.riken.jp/careers/researchers/20171108\\_5/](http://www.riken.jp/careers/researchers/20171108_5/)

○東北大学大学院工学研究科 量子エネルギー工学専攻 応用量子医工学分野 准教授または講師 1 名  
(任期無し、女性限定) (締切: 2018 年 1 月 9 日必着)

<http://www.qse.tohoku.ac.jp/news/N00074.html>

○東北大学金属材料研究所 原子力材料工学研究部門 准教授 1 名 (任期有り・10 年)  
(締切: 2018 年 1 月 12 日必着)

[http://www.imr.tohoku.ac.jp/ja/news/open\\_position/detail---id-386.html](http://www.imr.tohoku.ac.jp/ja/news/open_position/detail---id-386.html)

○静岡県立大学薬学部 医薬生命化学分野 教授 1 名 (締切: 12 月 13 日正午必着)

<http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/images/stories/koubo/koubo201710-iyaku.pdf>

○東京工業大学科学技術創成研究院 先導原子力研究所 放射性物質処理処分 助教 1 名  
(任期 5 年以内・再任の可能性あり) (締切: 12 月 15 日必着)

[http://www.hyoka.koho.titech.ac.jp/eprd/recently/koubo/file/koubo20171114-ka\\_j.pdf](http://www.hyoka.koho.titech.ac.jp/eprd/recently/koubo/file/koubo20171114-ka_j.pdf)

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— . . . . . —  
【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: [exec.off@jhps.or.jp](mailto:exec.off@jhps.or.jp)

— . . . . . —